

質 問 回 答

2024 年 6 月 24 日

「(案件名)アフリカ地域パワープール促進のための広域連携強化プロジェクト」

(公示日:2024 年 6 月 12 日/調達管理番号:24a00238)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	配布資料: 討議議事録(R/D) 及び 事業事前評価表	専門家のうち電力市場運営(SAPP)及び電力市場運用(WAPP)について、R/D ではそれぞれ 3 名、2 名に分割されています。一方、事業事前評価表では各 1 名のように見えます。同分野を担当する業務従事者数については、応募者の裁量に委ねられているという理解で宜しいでしょうか？	業務従事者については R/D に記載されている専門家の専門分野に留意のうえ、人数も含め最適と考える構成を検討、提案ください。
2	p. 29 1. モニタリングシート 言語: 英語	モニタリングシートも C/P と共同で作成するものという性質上、WAPP 技プロについては仏語が好ましいと考えますが、必須ではないということでしょうか？	ミニッツ等も英語で作成しており特に支障はなかったことから、モニタリングシートの仏語版作成は必須ではないとの認識です。
3	p. 52 1. (3) 2) ②語学能力: 英語	WAPP 技プロの円滑な業務実施にあたっては仏語能力が有利に働くと考えられますが、評価対象とはならないということでしょうか？	語学能力は SAPP、WAPP 技プロの双方の多くに関係する「英語」を評価対象としますが、高い仏語能力を有することをプロポーザルで示していただいた場合には評価に反映することがあります。
4	p. 53 2. (5) 対象国(ジンバブエ、南アフリカ、ベナン)の便宜供与	2 通訳の配置 について、表では「無」となっている一方、R/D (WAPP) の PDM において WAPP 側の投入として「通訳(英語-仏語)」があ	企画競争説明書第3章2. (5)の通訳に関する記載を次のとおり修正します。

		ります。 企画競争説明書の「無」が優先するという理解で宜しいでしょうか？	(修正前)通訳の配置:無 (修正後)通訳の配置:有(英仏通訳を WAPP 側が用意します。)
5	p.56 4.(4)1)5【WAPP 技プロ】 域内出張	CAPP 域内への調査にかかる渡航費用も対象外でしょうか？	WAPP との関係で必要と考える場合は、理由を付してご提案ください。
6	p.56 4.(4)1)【SAPP 技プロ、 WAPP 技プロ】WS、域内研修、 本邦招へい	WS、域内研修に関しては C/P の渡航、宿泊手配および日当の配布を受注者が行い、本邦招へいに関しては貴機構が行うということで宜しいでしょうか？	ご理解の通りです。本邦招へいについては記載のとおり別契約とします。JICA ホームページに公開しております、最新の「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン」をご参照ください。
7	P16 ②成果 2 の活動内容、 P21 ③成果 3 の活動 共通 Power system modelling by PSS/E	広域的な系統解析には、SAPP、WAPP 加盟国の潮流計算・過渡解析用のデータの整備が必要です。データが整備されていない場合はその補完作業も業務スコープでしょうか？	PSS/E によるモデリングデータの整備は各国電力公社並びにパワープール事務局にて実施することを想定しており、日本人専門家は技術的な助言のみを実施することとしています。
8	P37 4.事業の枠組み (1) 上位指標 指標 1	卸取引の売りと買いのニーズを突き合わせた結果、国家間の連系線の想定潮流が運用容量を超えた場合、市場分断が発生してしまいます。物理的な連系線容量の上限制約がある中で、設備的な対策を講じるよりも運用対策にて取引活性化を図ることを目的としているのでしょうか？	2030 年までに達成すべき指標ですので、広域融通の取引量拡大に資する運用側の対策が主な論点になると想定しています。なお、成果 1 では中長期的に設備側対策を含めた取引量拡大について検討することになります。
9	P28 第 2 章特記仕様書(案)② ベースライン調査	ベースライン調査の進め方ですが、案件概要表では「事業開始 3 か月以内に実施」との記載がございしますが、これは目安と考えて宜しいでしょうか。第一回現地渡航時に、調査の枠組み、調査項目を CP と協議のうえ合意する流れを想定	「事業開始 3 か月以内に実施」は目安とお考え下さい。

		しており、そのスケジュール次第でベースライン調査完了時期に影響が出ると考えております。	
--	--	---	--

以上